

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

栃木保健医療生活協同組合

健康とくらし

2023年9月
533号

特集
2・3面

平和への願い
私の戦争体験(上)
原水爆禁止世界大会レポート

待合室

今年は本当に暑い夏でした。日中の猛暑と熱帯夜。ぐっすり眠れない日々が続きました。8月、台風6号、7号がもたらした水害は日本各地で発生した線状降水帯によるものです。被災された方にはお見舞い申し上げます。

近年、毎年発生する水害の遠因は「地球温暖化」。温室効果ガスの一つで最も影響が大きいのが炭酸ガスです。大気中の炭酸ガスが増えると温暖化に拍車がかかる事が分かっています。

大気の成分は窒素78%、酸素21%、アルゴン0.93%で炭酸ガスは僅か0.03%に過ぎないのですが、この僅かな量で地球の地表温度が、生物の生息に適した状態・環境を今までは作り出し、維持してきました。

温室効果ガス世界資料センタの解析によると、2021年大気中の炭酸ガス濃度(世界平均)は415.7ppm、前年からは2.5ppm増加しました。

工業化(1750年)以前の世界的平均濃度は278ppmです。270年間で約50%増えています。

日本の南鳥島で行われている調査で1992年が360ppm、2022年は420ppmと、この30年間で60ppm、率にして16.7%増加している事が観測されました。この99%が人類の活動、営みによるものです。

日本の2020年の炭酸ガス排出量は12億4400万トンで、その内の16%が家庭から排出されています。1世帯当たりでは3.9トン/年です。

その内訳は①照明・家電製品が32.4%、②自動車22.7%③暖房15.9%④給湯15%で全体の86%を占めています。

私たち一人ひとりが日々の生活の中で温暖化防止を意識し、無駄を省き、節電や節水、設定温度の見直しなど、一つ一つを積み上げ、地道に取り組むことが将来に向けて重要ではないでしょうか。

私の戦争体験(上)



宇都宮市 関口喜美子さん(92歳)



戦時中の体験を綴り自費出版をした
関口さん

時代に翻弄された子どもたち

当時10代だった私たちは、国粋主義のもと、勝つための愚かな教育の渦に巻き込まれていました。

私が小学5年生のとき、太平洋戦争に突入しました。この時の教育は「立派な子どもをつくってお国のために」が第一目標。勉強よりも、戦争で戦えるような身体づくりが中心でした。2時間目と3時間目の間には女兒も乾布摩擦を行いました。当時の栄養状態では胸が膨れている児童はおらず、男の先生の前で上半身裸になりました。

軍事教練が始まり、女兒はなぎなた、男児は武道の訓練。毎日1回は

二荒山神社に先勝祈願へ行きました。集団行進や出征兵士の見送り、慰問袋の中に入れる作文や絵を描いたことを、よく覚えています。



関口さんが通った西国民学校
女子児童のなぎなた訓練の様子
出展：総務省ホームページ

忠君愛国と学徒勤労動員

まだ戦争が激しくなる前には、映画館に行きました。そこでは戦争のニュースが流れ、天皇が画面に映ると、男性が一斉に帽子を取ります。あの時の異様な空気感と、帽子を取る音は、なんとも形容し難いものです。

登下校時には奉安殿（天皇皇后陛下の写真と教育勅語が収められていた建物）の前で必ず最敬礼しなければなりません。このように

天皇はあがめられ、「現人神（あらひとがみ）」として神格化されていました。

女学校（現在の宇都宮女子高等学校）時代には、学徒勤労動員がありました。男性がいなくなった農村部へ赴き、田植えや稲刈りを行い、トイレに溜まった排泄物のくみ取りも行いました。

そのうち女学校自体が中島飛行機製作所の軍需工場になり、私たちは運ばれてきた部品のはんだ付けを行いました。上級生は大谷の地下工場で作業をしました。姉は、大谷石を上げ下げする滑車で地下に降ろされたときのことを「千尋（せんじん）の谷に落とされる思いだった」と話していました。

「当たり前」とされた忠誠心

友達の兄は戦死し、その家には「誉の家」と貼られているのを見ました。逆にジャズを流すなど不謹慎とされることが見つかったと「非国民の家」と玄関前に貼られると聞きました。別の友人のお父さんは通訳か何かで英語を扱っていたことが憲兵に知られ、拘置所に連れて行かれてしまいました。

国は「戦争に勝つ」という一念でした。市民は声など上げるとまもなく、上からの命令に全て従わざるを得ませんでした。それが当たり前、と思い知らされていたのです。

次月号に続く

夏、平和の 取り組みに参加

佐野支部では市内で取り組まれている平和の行動に、なないうる班で参加しました。

7/2「沖縄、再び戦場へ」スピノフ上映会に参加しました。

自衛隊の動きや弾薬庫や核シエルトの設置など、それに抗する住民の運動。ここは日本なの？と疑うほどでした。

8/6広島原爆投下の日、金蔵院の境内で行われた平和の波集會に参加しました。

佐野市平和都市宣言の朗読、お寺訪問の報告、平和の歌声、8時15分には黙とうと鐘つきを行い、参加者は核兵器の廃絶、平和への思いを改めて確認しました。佐野支部は今後も共に行動していきたいと思っています。

佐野支部 橋本京子



平和の波集會 参加者の集合写真

原水爆禁止世界大会レポート

8月6日から9日まで、長崎県長崎市にて原水爆禁止世界大会が行われ、宇都宮協立診療所平和チーム（yassopop team 略してPOPチーム）のメンバー4名（田中真史、内藤愛子、大森萌、古谷万由輝）で行ってきました。昨年はオンライン参加でしたが、今年には念願の現地参加ができました。大会では核兵器禁止に取り組んでいる諸外国や他団体の発言を聞くことが出来ました。また、原爆資料館見学や被爆者の話、各分科会への参加、栃木代表団との交流をすることが出来ました。大会参加にあたり、カレーや焼きそばを作るなどの財政活動、職員や組合員さんからのカンパにより集まった30万円を超える募金を活用させていただきました。送り出していただき、ありがとうございました。



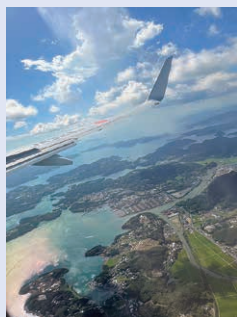
左から通し行進者の山口さんと、古谷、内藤、大森、後ろが田中

―原水爆禁止世界大会に参加した感想を教えてください―

（田中）原爆により30000℃以上の熱線、爆風そして放射線で市民の3人に1人がその年に亡くなったことを

聞き、心が痛む思いでした。私たちが被爆者の証言を聞ける最後の世代であること、そして核兵器の非人道性を次の世代に引き継いでいかなければならないことを強く感じました。

（内藤）政府は核抑止力を訴えアメリカの核の傘に頼っていますが、このままでは核兵器のない平和な世界を実現することは難しいです。唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に参加することの重要性を感じました。また登壇者や参加者は、歌や平和行進、被爆体験の語りなど、個性豊かに平和への思いを伝えていました。平和を訴える手段や形は自由だといふことに気づかされました。



長崎の上空から

―特に心に残ったことを教えてください―

（大森）長崎原爆資料館に行き実際に被爆された方の話を聞きながら、原爆のレプリカや焼けて変形した弁当箱などの資料を見たことが特に印象的でした。当時の悲惨さや、友人との会話などを話していただき、何十年経った今でも細かい描写が心の中に刻まれており、改めて考えさせられた印象深い出来事でした。

（古谷）分科会では「平和と環境問題」について学びました。平和も環境問題

も私たち一人一人の意識次第で守ることができ、両者のつながりは大きいものだと学びました。またSDGsの項目と日本国憲法は同じことを掲げていると聞き、憲法ができた時から私たちの目標・願いは変わらないというお話が印象的でした。

―今後どうなっていきたいですか？―

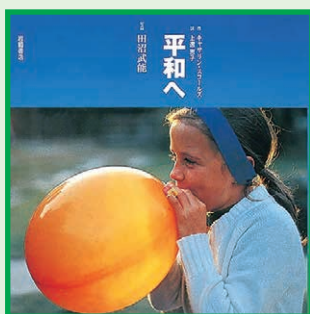
（田中）戦争に正義はなく、絶対にしてはいけないことを教わりました。まずは身近な人や職場の中で、話し合いを大切にしていきたいです。またPOPチームに多くの若い職員が参加できるとなかなかにして、一緒に行動していきたいです。

（内藤）今回感じたこと学んだことをまずは身近な人から伝え、核兵器が人間や地球にもたらす影響について自分事として考え行動するきっかけ作りをしたいです。また、小中学生など将来を担う若い世代にも伝えることが大切だと思い、そのような機会を設けたいと考えています。

（大森）大会を通して、自分達1人ひとりの行動で世界は変えられると再確認することができました。まずは身近な人達に平和について考えてもらい、平和活動の規模を広げていきたいです。

（古谷）一度と核の被害・戦争を起こさないためにも被爆された方のお言葉は重要なものです。私たちのように話を聞いた人が、また次の人へ繋げていくことが大切だと考えます。小学校で平和についての話をしたり、平和活動に積極的に参加し、その大切さを広めていきたいと思っています。

おすすめ絵本



作：キャサリン・スコールズ

訳：上遠 恵子
写真：田沼 武能
出版：岩崎書店

かけがえのない地球、生命、愛する人、平和はみんなのちがいをみとめること…。心うつ文といきいきとした写真で語りかける写真絵本です。対象年齢は小学校低学年～中学生。大人の方も手に取ってみてください。

高校生の原爆の絵 活用を

2019年に新婦人新聞に、被爆者の証言を聞き高校生が描く原爆の絵についての記事がありました。すぐに原爆資料館からデーターを借りてプリントアウト。医療生協の地域活動部に協力してもらいました。63枚の絵は新婦人の事務局でラミネート。毎年8月にはご希望の方が活用しています。展示の際には、医療生協協力のメモを出しています。

原子爆弾はあらゆる生命の生存を否定する兵器で、作っても・使用しても・脅かしてもならないとした核兵器禁止条約は重要な約束です。今年はプロに製作してもらった20点の作品が加わりました。是非活用して下さい。

増山 民江（新婦人宇都宮支部長）

連絡先 028-635-9025 新婦人宇都宮支部

2023年

「夏の高校生医療体験」に

72名が参加！

毎年夏休みに開催している「高校生医療体験」に栃木県内6校の高校から、将来医師・薬剤師・看護師を希望する高校生が参加しました。今年も暑い夏でしたが、その熱にも負けなくらい「患者さんに寄り添う」という診療所の「あたたかい」思いが伝わる医療体験となりました。



高校生に説明をする軽部所長

参加した高校生の感想

自分が医師になった時の将来像をはっきりさせたいと思い参加しました。診療所のアットホームな空間や患者家族のケアなど、他の病院では感じることでない温かいものを感じることができました。自分も患者さんを第一に考え尊重し、看護師さんや事務の方々の声にも耳を傾けて連携して、どんな人でも助けられる医師になりたいと思いました。

「社会的処方」という言葉が強く印象に残っています。病気についてだけでなく、その家族や環境、経済的な状況も踏まえて治していこうという方針が患者さんのためになり、病気の根源を断つことにつながるの、理にかなっていると思いました。また、診察の際には患者さんが様々な相談をしていて、医師は信頼されているのだと感じました。人柄という部分が大切であると気づきました。

つながるカフェ★カムカム

夏祭り

2023年8月11日（金）に夏祭りを開催しました。炎天下の中、15時半からスタートでした。参加人数は、就学前の子どもから中学生までが37名、大人は16名で、ボランティア・職員合わせて総勢60名以上の参加がありました。

出し物は、ポップコーン、かき氷、焼きそば、フランクフルト、芋フライ、わたあめ、水ヨーヨーなどが並びます。暑い中で食べるかき氷は清涼感あふれ、体にしみわたりました。わたあめは、参加者に自分で作ってもらいました。小さな子どもから高齢者の方まで、「初めての経験だわー」と笑みがこぼれました。

水ヨーヨーすくいは、子どもたちが夢中になって挑み、何個もすくって持ち帰っていました。また南支部から届いた、お菓子釣りやポップコーンも夏祭りを盛り上げてくれました。嬉しいことに、生協ふたば診療所の子ども企画に参加していた当時小学生だった子どもが、中学生になりボランティアとして参加してくれました。

40食作った焼きそばやフランクフルトもあっという間になくなり、大盛況で終了しました。

果物や野菜・お米、お祭りに寄付金



水ヨーヨーすくいに挑戦！



準備をする千嶋先生と子どもたち

も届き、地域の方の温かさを感じました。初めて参加した近所に住む親子からは「何をやってるところかな？」って気にはなっていたんです。」と話があり、カムカムを地域の方に知っていただく良い機会になりました。

カムカムの活動ももうすぐ1年を迎えます。今後も、地域の方のホッとする居場所になれるよう、継続して活動していきたいと思っています。

生協ふたば診療所 諏訪陽子

通所介護 デイサービス虹
うれしいお買い物

コロナウイルスの影響で中止していた「お買い物」が復活しました。皆さん久しぶりのお買い物で笑顔が見られ、とても楽しんでいました。この先も、ボランティアさんに来ていただいて、夏祭りなどの様々な企画を実施予定です。少しずつ以前の活動が戻ってきて職員も嬉しいです。

☎028-6000-1601

所長 榎 忠光



体験利用・見学を実施しています。
(体験利用は昼食代600円がかかります)
まずはお問合せください。



組合員の

いきいき活動



ロングピロピロ再開
(8/23 北西支部・レインボー班)
体操前にロングピロピロを活用し、楽しくエクササイズ！



夏まつりで地域交流 (7/29 宇都宮南支部)
緑が丘小学校で開催された「ふるさとまつり」に参加し、お菓子釣りとラムネ販売をしました。



栃木市の班会に注目！



ひまわり班

那珂湊おさかな市場へ。
新鮮な海の幸を味わい、
買い物を楽しみました。



健康作り班

楽しいな みんなと一緒
にレインボー体操！



グラウンドゴルフ班

戦後78年、人間としてこ
んなに豊かな生活がおく
れて幸せです！



野菜作り班

じゃがいもがたくさん収
穫できてビックリ！芽か
きや草取りの苦勞が喜び
に！

おうちでレッツ体操



適度な気温になる「秋」は運動をするには最適な季節です。夏よりも気温と体温の差が出るので体温調節が必要となり、体がカロリーを消費するので、自然と基礎代謝がアップします。ジョギング、ウォーキング、サイクリングなどの有酸素運動に加えて、お家でも身体を動かしてみよう！

スクワットのポイント

- ① 体幹のフォームをしっかり
- ② しゃがんだ時の膝の向きはつま先と同じ方向に
- ③ ゆっくり行うこと

下半身を中心に全身の筋肉を鍛えられるスクワットは体幹のフォームがしっかりしていないと、腰痛や肩こりの原因になってしまいます。正しいフォームを身につけましょう

1 ロボットロッキング

- ① いすに浅く座り、足を腰幅に開く
- ② 両手を太ももに置き、背筋をまっすぐに伸ばす
- ③ 背筋を伸ばしたままで、上体をゆっくり前傾（約45度）させる
- ④ 背筋を伸ばしたままで、②の状態に戻る
- ⑤ 10回×3セット



・前傾する際に胸が遠くへ引く張られるような感覚で

2 スクワット

- ① いすから立ち上がって足を腰幅に開き、両手を胸の前で交差する
- ② お尻を後ろへ引きながら上体を前傾させ、5秒かけて中腰になる
- ③ 2秒かけて立ち上がり、①の状態に戻る
- ④ 10回×3セット



・股関節と膝関節をバランス良く曲げる
・膝に痛みなどの問題がなければ、膝がつま先より前に出てもOK

第4回とちぎふくし映画祭

とちぎふくし映画祭が県内9会場で開催されます。第4回となる今映画祭のテーマは「障害福祉」「母と子」。今回は2本の映画を上映します。

大河ドラマの題字を担当するなど、今や天才書家と呼ばれるようになった金澤翔子。生まれてすぐにダウン症と診断された彼女に母泰子はどのように向き合ってきたのか。彼女たちの日々密着した映画「共に生きる—書家金澤翔子—」。

9歳で失明し、18歳で聴力も失いながら世界ではじめて盲ろう者の大学教授となった福島智。その生い立ちを描いた実話をもとにした映画「桜色の風が咲く」

前売券 1本1000円

※当日+800円で2本目を見ることができます
※医療生協各事業所で前売券を取り扱っています

当日券 1本1200円 2本2000円

お問合せ

028-600-1606（地域活動部）
090-9686-8045（栃木県映画センター 高橋）



上映時間（各会場共通）

「共に生きる」
①10:30～ ②15:00～
「桜色の風が咲く」
①12:30～

※9/23宇都宮のみ
「桜色の風が咲く」
①12:30～ ②16:40～

9月 10日 栃木市文化会館
23日 宇都宮市文化会館
24日 佐野市文化会館
26日 那須野が原ハーモニホール
10月 2日 鹿沼市民文化センター
3日 足利市民プラザ
5日 真岡市民会館
6日 日光ニコニコ本陣ホール
8日 宇都宮市文化会館

通称
虹フェス

虹の健康まつり

2023.11.11 SAT | 10:00-12:30

場所

栃木保健医療生活協同組合
（宇都宮市宝木町2丁目1028-17）

- バザー、新鮮野菜の販売、健康チェック、室内イベント など
- フリーマーケット出店者募集！（先着5区画）
- お問合せ 地域活動部 TEL:028-600-1606

レイ・パワー・ウォーキング

日時 2023年10月14日(土)
時間 14時～16時
場所 とちぎ健康の森
参加費 無料
持ち物 水分・(万歩計・スマートフォン)
★動きやすい服装・運動靴での参加をお願いします

雨天時 医療生協本部の虹の杜でポッチャをやります

天気の判断は、当日の朝に行います
晴天時・雨天時も電話連絡いたします

申し込み方法

①協立診療所受付で直接 ②電話

上記いずれかの方法で、お申込み下さい

お問い合わせは 協立診療所 事務 大貫 まで

電話 028-650-7881

健康づくりに チャレンジ！

10月より健康・きつずチャレンジが始まります。健康づくりに関する項目に大人は30日、子どもは14日間チャレンジしていただき、報告はがき提出者には記念品プレゼント！

地域のみなさまが健康習慣をつくるきっかけになることをめざしています。用紙は診療所窓口または地域活動部で扱っています。遠方の方は郵送対応も可能です。みなさまのチャレンジお待ちしております。



実施期間 10月1日～11月30日まで

報告はがき提出締切 2023年12月31日

お問合せ 栃木保健医療生活協同組合

健康づくり委員会

電話 028-6000-1606

文芸コーナー

俳句・川柳



満月に大輪の花コラボかな

宇都宮市 橋本とめ子さん

うんちく
蘊蓄は無用と蕎麦を豪快に

宇都宮市 小池貞雄さん

いつまでも待てる主治医の診療日

ペンネーム 草詩

残暑にも楚々と咲くのは玉すだれ

佐野市 町田順一さん

絵・写真



カモのいる風景
宇都宮市 斉藤 千恵さん



栃木市 味村 節子さん

読者の声

8月号を読んで

連載「医療・介護の現場から」は、居宅ふたば。時々おじゃまするが、写真や記事からも読み取れるように、対応はいつも優しい。今後ともよろしく願います。

ペンネーム ひろじい

猛暑に気をつけよう

夏が終わろうとしているのに猛暑が続いています。体に堪えるとの会話に、年もとっているんだと言われ、なるほどと納得。気をつけようと思いました。

宇都宮市 宇梶美津江さん

白内障と医学の進歩

6月に白内障の手術を受けて2ヶ月になる。最初の1ヶ月術後の安静を保ちつつ、近距離の見えにくい不便を感じながら、やっと老眼鏡が出来た。以前通りとは言えないが、医学の進歩を実感した手術でした。

宇都宮市 菊池 洋子さん

気候変動に危機感

こちらは幸いにして台風が暴れなかったけれど、直撃を受けたみなさんは大変だったでしょう。昨今の気候変動には危機感を覚えます。

地球が怒っています!!

栃木市 味村 節子さん

がんによる経済損失は

国立がん研究センターは2015年時点のがん患者数などを基に、直接的な医療費や、死亡や罹患による労働損失を足して負担額を推計。その結果、がん全体では2兆8597億円に上り、うち予防可能ながんが1兆240億円を占めた。部位別では胃がんが最多。2番目は男性が肺がん、女性が子宮頸がん。リスク別では「能動喫煙」4340億円、次いでピロリ菌感染による胃がんが2110億円など。

生協ふたば診療所 医師 天谷 静雄

出資金情報

いま生協は

- ①加入組合員(8月)
……45人
 - ②組合員総数
……11,822人
 - ③増資金額(8月)
……964,000円
 - ④出資金総額
……328,848,500円
 - ⑤一人平均出資額
……27,751円
- (2023年8月31日現在)

クイズコーナー

1	2	3	4	5	6	7	8	9
9	2	8				7	1	4
7			9		1			3
	3		7		2		9	
			8		4			
		4	5		3	9		
1		7				4		5
6								2
	1	5				3	6	
	7	2				1	4	

☆夏の疲れは取れましたか？
今月はナンプレにしました。
目標タイム15分です。

抽選で3名の方にグルメ
カードをプレゼント！

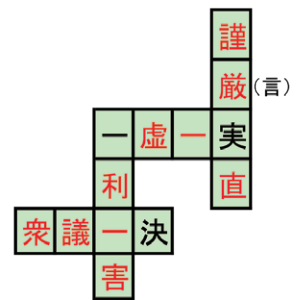
応募締切 10月15日 消印有効

訂正とお詫び

問題の選択肢に誤りがありました。
(誤) 言→(正) 厳
どちらの回答も正解といたします。
大変失礼いたしました。

7月号クイズの答えと当選者

宇都宮市 佐伯 茂さん
佐野市 廣瀬 玲子さん
宇都宮市 御牧 秀世さん



宇都宮協立診療所の外来診療表

〒320-0061 宇都宮市宝木町2-1016-5

TEL 028-650-7881(代)
FAX 028-650-7884

新患の方、急患の方、予約日はまだだけれど具合が悪くなった方などは予約がなくても診察ができますので、ご来院ください。

夜6時以降や休診日は、宇都宮市の夜間休日救急診療所へお願いします。☎ 028-625-2211

	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 11:45	植木(予約) 関口 武井 軽部/川口 (内視鏡)	関口(予約) 池田 川口	軽部(予約) 水曜担当医 (山本/平野)	軽部(予約) 関口 川口	軽部(予約) 関口 瀬山 平野(内視鏡)	交替制 11:45まで受付 午後休診
15:00 ～ 18:00	軽部(予約) 月曜担当医 (関口/植木)	山本(予約) 火曜担当医 (平野/池田)	休診	軽部(予約) 木曜担当医 (平野/池田)	軽部(予約) 瀬山(予約) 金曜担当医 (池田/武井)	
	18:00まで受付	16:30まで受付		18:00まで受付	16:30まで受付	

※両診療所、新型コロナウイルス感染症対策のため診療体制が変更になることがあります。※乳児検診(4ヵ月、10ヵ月)希望の方は、事前にお電話下さい。

●火曜日と金曜日の受付は午後4時30分までです。●「予約」と書いてあるところは時間予約がとれます。予約をとった患者さんのみの診療となります。●予約の無い方は、予約の無い患者さんを診る医師がおりますので、そちらをご利用ください。●申し訳ありませんが、電話での診療予約はできません。来院時、窓口をお願いします。予約の変更は電話でもできます。●土曜日は、交替制となっています。担当する医師は外来に掲示します。

お知らせ
お願い
予約の変更や診療時間や検査の問い合わせは、朝9時から夜7時の間をお願いします。朝の玄関の開錠時間は8時35分頃(朝礼後)です。受付開始時間は、朝は8時35分から、午後は2時30分からです。ご協力をお願いします。病棟の面会は事前予約制となっております。外来終了後、玄関を施錠します。

生協ふたば診療所の外来診療表

〒321-0164 宇都宮市双葉1-13-56

TEL 028-684-6200
FAX 028-684-6208

	月	火	水	木	金	土
8:45 ～ 11:45	北岡 鈴木(胃カメラあり) 千嶋	北岡(胃カメラあり) 武井 千嶋	鈴木 天谷	北岡 植木 古橋	天谷 千嶋	交替制
16:00 ～ 18:00	天谷	軽部(予約) 鈴木	休診	千嶋	関口	休診

【投稿の募集要項】クイズコーナーの解答、文芸コーナー、読者の声を募集しています。／手紙、はがき、FAX、メール、診療所や班会での手渡し、どのような形で受付します。／毎月の投稿締め切りは翌月15日です。／お名前(ペンネーム可)、住所、連絡先を明記してください。／感想やご意見などは、文意を変えずに編集させていただきます。掲載作品は原則として返却いたしません。返却希望の方は必ず投稿時にお申し出ください。

1世帯あたり1通、郵送もしくは組合員による手配りで毎月お届けしています。
本人が住んでいない、お引越しなどの場合はお手続きが必要です。

連絡・投稿先



栃木保健医療生活協同組合

「健康とくらし」編集委員会 宛
〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町2-1028-17
電話 028-600-1606 FAX 028-600-1607
HP <https://www.tochigihoken.or.jp/>
メール chiiki@tochigihoken.or.jp
発行人：関口真紀 印刷所：(株)マルタイ印刷
毎月1回20日発行

HPはこちら



編集委員会に届いた1通のお手紙をきっかけに、今月号は戦争と平和の特集を組むことになりました。平和への想いが綴られた凛とした文字は、関口さんのお人柄を表すかのようでした。9月21日は国連が定めた国際平和デーです。世界の停戦と非暴力の日として、すべての国と人々に、この1日は敵対行為を停止するよう働きかけています。青空が好きで、花びらが好きで、いつも笑顔が素敵なみなさま、どうか一緒に対話を通して、過去の経験を未来に紡いでいただければと思います。

編集後記

